

2018年11月6日

各位

会社名 KYB株式会社  
 代表者名 代表取締役会長兼社長執行役員 中島 康輔  
 (コード番号 7242 東証第1部)  
 問合せ先 経理本部財務部長 山田 浩  
 (TEL 03-3435-3541)

**免震・制振用オイルダンパーに係る製品保証引当金等の計上及び**

**第2四半期連結業績予想と実績の差異並びに通期連結業績予想の修正に関するお知らせ**

2019年3月期第2四半期において、2018年8月7日に公表いたしました2019年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績との差異が生じたので、お知らせいたします。併せて、2019年3月期の通期の連結業績予想について、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値と実績値との差異  
 (2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 差異の内容

	売上高	セグメント利益	営業利益	税引前 四半期利益	四半期利益	親会社の所有者に 帰属する 四半期利益	基本的 1株当たり 四半期利益
前回発表予想(A) (2018年8月7日)	百万円 205,200	百万円 9,900	百万円 10,200	百万円 9,200	百万円 7,200	百万円 6,900	円 270.12
今回実績(B)	202,789	9,468	△11,300	△12,369	△11,789	△11,972	△468.67
増減額(B-A)	△2,411	△432	△21,500	△21,569	△18,989	△18,872	—
増減率(%)	△1.2%	△4.4%	—	—	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (2018年3月期 第2四半期)	189,448	10,698	11,048	10,902	7,548	7,239	283.39

(2) 差異の理由

当第2四半期連結累計期間において、2018年10月16日公表の「当社及び当社の子会社が製造した建築物用免震・制振用オイルダンパーの検査工程等における不適切行為について」に関し、現時点において収集可能な情報、及びその情報が合理的な事実に基づくものであると判断された免震・制振用オイルダンパーの製作費用並びに免震用オイルダンパーの交換工事に要する費用を見積り、製品保証引当金繰入額14,425百万円を当第2四半期のその他の費用として計上いたしました。これに伴い、免震・制振用オイルダンパーを製造、販売するカヤバシステムマシナリー株式会社の有形固定資産につき、減損処理を実施した結果、2,043百万円も同じくその他の費用として計上いたしました。また、2018年11月6日公表の「米国集団民事訴訟における一部原告との和解に関するお知らせ」に記載した和解金と、本和解に伴い米国州政府の一部との間で行った和解に伴う金額の合計4,424百万円を、独占禁止法関連損失として当第2四半期のその他の費用に計上いたしました。以上を踏まえ、営業利益以下の各段階損益において、大きく差異が発生いたしました。

## 2. 2019年3月期通期連結業績予想数値の修正

### (1) 修正の内容

(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	セグメント利益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想(A) (2018年8月7日)	百万円 416,000	百万円 22,500	百万円 23,900	百万円 22,300	百万円 16,700	百万円 16,000	円 626.37
今回修正予想(B)	416,000	21,300	700	△500	△1,800	△2,300	△90.04
増減額(B-A)	—	△1,200	△23,200	△22,800	△18,500	△18,300	—
増減率(%)	—	△5.3%	△97.1%	—	—	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (2018年3月期)	393,743	22,949	20,885	20,881	15,786	15,202	595.09

### (2) 修正の理由

通期の業績予想につきましては、営業利益以下の各段階損益において、当第2四半期連結累計期間の実績に加え、2018年11月6日公表の「オランダ子会社の解散及び清算に関するお知らせ」に関し、当第4四半期に清算に伴う利益として2,800百万円をその他の収益に計上する見込みである一方で、四輪車用油圧機器において、グローバルでの構造改革に伴う費用が発生する見通しであり、前回発表予想を大きく下回る見込みとなりました。

(注) 上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。免震・制振用オイルダンパーに係る製品保証引当金につきましては、現時点において信頼性のある見積りが可能な費用についてのみ計上しております。なお、本件の今後の進捗により、これらに関連して発生する交換工事に要する費用並びに交換工事の実施に伴って発生する補償等の付随費用について信頼性のある見積りが可能となった時点で当社の連結業績に重要な影響を及ぼす可能性があります。

以 上